

【2021.12.2 発信 VO L 55】

「進藤金日子メールマガジン」は、ホームページにて配信の申し込みをして頂いた方、名刺交換をさせて頂いた方、報告会等に参加頂いた方等に無料で配信させて頂いています。

VO L.55 は、以下の内容でお届けします。

- 予算の動向について
 - 「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」について
 - 令和3年度補正予算の政府原案が決定について
 - 新しい資本主義実現会議の開催について
 - ナガエツルノゲイトウの駆除対策について
 - 農業農村整備の集いについて
 - 世界かんがい遺産の登録について
 - 参議院議員進藤金日子君を励ます会の開催について
 - 新型コロナウイルス感染症に関する情報について
 - コロナ禍の中で抗原検査等を随時行い各種講演を慎重に実施
 - 活動状況（2021.11.1～2021.11.30）
-

■ 予算の動向について

参議院議員の進藤金日子です。

- ・早いもので、今年も残すところ1か月となりました。
- ・新型コロナウイルス感染症は、この2年にわたり我々の生活に大きな変化をもたらし、日本のみならず世界経済に大きな影響を及ぼしました。しかし、我が国においては最近ワクチン接種や感染防止対策の徹底などにより感染者数が激減しております。こうした状態下において、治療薬や国産ワクチンの承認などにより感染症対策をより徹底するとともに、医療体制等の整備に万全を期す必要があります。加えて経済対策をはじめ広く国民生活に目配せしながら、社会経済活動の正常化に向けて可及的速やかに諸対策を実行する必要があります。
- ・そのためには、まずは年内での令和3年度補正予算の早期成立を図り、年度内に平成4年度予算の成立を図ることが不可欠です。そして、予算関連法案をはじめとした国民生活に密接に関わる法案をしっかりと審議して早期成立を図るのが国権の最高機関たる国会の任務です。
- ・特に、課題が山積している農林水産業と農山漁村の振興を図るためには、十分な予算の確保と法律等の制改定を通じて、スピード感のある政策展開が重要です。
- ・海外で見られる新型コロナウイルス感染症の変異株は、強い感染力を有していると言われております、引き続き、正しい情報に基づき冷静な判断と行動

を行っていくことが大切です。季節性のインフルエンザ流行に備えるためにも、基本的な感染防止対策（マスク着用、手洗い、「密」の回避など）、特に冬に向けては室内の換気などを継続して行うなど、これまでの知見を活かした基礎的な諸対策を一人ひとりが徹底することが大切です。

■ 「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」について

- ・ 11月19日、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」が閣議決定されました。
- ・ 本経済対策は、第一は「新型コロナウイルス感染症の拡大防止」、第二は「ウィズコロナ下での社会経済活動の再開と危機管理の徹底」、第三は「未来社会を切り拓く「新しい資本主義」の起動」、第四は「国民の安全・安心確保」の4本柱により構成されています。
- ・ この経済対策に基づき編成される令和3年度補正予算は、令和4年度当初予算と一体的に「16カ月予算」として位置付けられており、切れ目無く予算を執行して広範な諸対策を推進していく起爆剤になるものです。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(首相官邸ホームページ)。

https://www.kantei.go.jp/jp/pages/keizaitaisaku_20211119.html

■ 令和3年度補正予算の政府原案が決定

- ・ 農林水産関係の補正予算は、総額8,795億円です。
- ・ 「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施、米の需給及び価格の安定に向けた対策の実施、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた経済支援と食品産業の強化、ポストコロナ社会を見据えた農林水産施策の推進、防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進等への対応が措置されております。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r3hosei.html>

■ 新しい資本主義実現会議の開催について

- ・ 11月8日内閣官房新しい資本主義実現本部事務局は、同会議を開催しました。
- ・ 「～未来を切り拓く「新しい資本主義」とその起動に向けて～」としての緊急提言は、早速、実行すべきものは実行に移し、新しい資本主義を起動するとして、当面、内閣が最優先で取り組むべき施策が整理されたものです。
- ・ 農業関係では、同緊急提言の「II. 成長戦略」、「3. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」の起動」、「(6) 地方活性化に向けた基盤づくりへの積極的投資」という中で、「① 農林水産業の成長産業化の推進・家族農業や中山間地農業などが持つ多面的機能の維持、② 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の推進・豊かな田園都市国家を支える交通・物流インフラの整備」として具体的な内容が提起されて

おります。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(内閣官房ホームページ)。

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/kaigi/dai2/gijisidai.html

■ 国土審議会第2回計画部会について

- ・11月16日、国土交通省は、国土新開計画部会を開催し、新たな国土形成計画の策定に向けた検討を開始しました。令和4年6月頃に中間取りまとめを行う予定です。
- ・本メールマガジンでは、これまでも新たな国土形成計画の動向を紹介してきましたが、引き続きお伝えします。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(国土交通省ホームページ)。

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s103_keikaku03.html

■ ナガエツルノゲイトウの駆除対策について

- ・特定外来生物ナガエツルノゲイトウが大量繁殖について、「ナガエツルノゲイトウ全国会議」開催され、その関係資料等が農林水産省ホームページに掲載されましたので情報提供致します。
- ・是非とも参考にして下さい。また、何か情報がありましたら進藤金日子事務所までお願いします。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/nagae.html

■ 農業農村整備の集いについて

- ・11月16日、令和4年度予算確保に向けた「農業農村整備の集い」が開催されました。
- ・二階俊博全国土地改良事業団体連合会長は、令和3年度補正予算、令和4年度当初予算での土地改良予算の確保に向け「農家に期待を持って迎え入れてもらえる環境をつくるため、一致団結して闘っていかなければならない」、また、土地改良での男女共同参画について、「理屈抜きにして、土地改良団体の活性化のための取り組みを進める」よう呼び掛けました。
- ・金子原二郎・農林水産大臣、森山裕・自民党T P P・日 E U・日米T A G等経済協定対策本部長、石井啓一・公明党幹事長からも、農業農村整備事業の重要性など力強い御支援の御挨拶を頂きました。
- ・私からは、全国水土里ネット会長会議顧問として、予算確保に向けた意思統一の必要性とともに、土地改良事業の実施によって、その地域や農業が発展していく事業効果をしっかりと国民の皆様にも説明し理解を得る必要もあることなどに触れながら、土地改良事業推進の重要性を訴えました。
- ・また、宮崎雅夫・参議院議員と一体になって国政で活動することの有用性や重要性に触れ、「アヒルの水掻きは2つ」必要であることを強調して、進藤という水掻きが欠けることがないように、来夏の決戦に向けての決意を述べま

した。

■ 世界かんがい遺産の登録について

- ・11月26日、農林水産省は、建設から100年以上経過した歴史のあるかんがい施設を「世界かんがい施設遺産」として国際かんがい排水委員会が「大阪府の寺ヶ池・寺ヶ池水路」と「大分県の宇佐のかんがい用水群」の2施設を選定し、登録したと発表しました。

・素晴らしいことです。関係する方々に心からお祝い申し上げます。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kaigai/211126.html>

■ 参議院議員「進藤金日子君を励ます会」の開催について

- ・11月16日、私の後援会主催で私を励ます会を開催いただきました。全国各地の土地改良関係者、森林・林業関係者、水産関係者、建設コンサルタント関係者をはじめとした多くの方々にご臨席賜りました。
- ・全国各地の多くの皆様から、心温まる力強い御支援と激励を賜り、厚く御礼を申し上げますとともに、心から感謝を申し上げます。
- ・励ます会では、私が所属する政策集団「志帥会」の武田良太・事務総長、中曽根弘文・会長代行をはじめ、金子原二郎・農林水産大臣、小林鷹之・国務大臣、山口壯・環境大臣、衛藤征士郎・自民党憲法改正推進本部長から心温まる丁寧なご挨拶をいただきました。本当に多くの皆様方に重ねて感謝を申し上げます。
- ・励ます会の運営には、後援会の皆様、諸先輩の方々の多大なる献身的なご支援をいただきました。心から感謝を申し上げます。

■ 新型コロナウイルス感染症に関する情報について

※新型コロナウイルスに関する情報については、以下のアドレスから参照願います。

なお、最新の情報を入手するよう留意願います。

- ・新型コロナウイルス感染症が鎮静化してきましたが、まだまだ第6波到来の恐れもあり、これまでどおりの三密の回避、マスクの着用などの感染対策が引き続き必要です。

(首相官邸ホームページ)

<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

(内閣官房ホームページ)

<https://corona.go.jp/>

(厚生労働省ホームページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

(農林水産省ホームページ)

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html

(自由民主党ホームページ)

<https://www.jimin.jp/covid19/>

■ コロナ禍の中で抗原検査等を随時行い各種講演を慎重に実施

- ・ 11月4日、鳥取県湯梨浜町で開催の「鳥取県美しく豊かな村づくり大会2021」において、「最近の農政を巡る状況と今後の展開方向」と題して講演を行いました。
- ・ 11月6日、島根県大田市で開催の「ルーラルミーティング in しまね」において、「最近の農政を巡る状況と今後の展開方向」と題して講演を行うとともに、パネルディスカッションにも参加しました。
- ・ 11月9日、岐阜市で開催の「ぎふ水土里ネット女性の会設立総会」において「農業・農村における女性参画について」と題して講演を行いました。素晴らしい設立総会で、今後の積極的な活動の展開が期待されます。
- ・ 11月13日、熊本市で開催の耕親会（同県土地改良関係者のOB会）の「農村振興に関する講演会」において、「土地改良に対する高まる期待」と題して農業政策、地域政策、そして国土政策の推進に土地改良が果たす役割の大きさと高まる期待などについて講演を行いました。
- ・ 11月15日、秋田県仙北市で開催の「秋田県仙北支部土地改良関係団体講習会」において、「最近の農政を巡る状況と今後の展開方向」と題して米どころ秋田を踏まえ、主に米問題を中心とした講演を行いました。
- ・ 11月18日、山形県鶴岡市で開催の「国営赤川二期農業水利事業の完工式」で祝辞を述べ、その後の記念講演会で「最近の農政をめぐる情勢と今後の展開方向」と題して、講演を行いました。
- ・ 11月22日、秋田県横手市で開催の「秋田の原風景を守り継ぐフォーラム」において「中山間地域の振興について」と題して講演を行い、自らが農水省中山間地域振興課長を務めた時の資料等を振り返りながら、課題と今後の展開方向を掘り下げて講演を行いました。
- ・ 11月25日、宇都宮市で開催の「栃木県南部土地改良事業推進協議会研修会」において「最近の農政をめぐる情勢と今後の展開方向」と題して講演を行いました。
- ・ 11月26日、仙台市で開催の「宮城県土地改良大会」において「最近の農政をめぐる情勢と今後の展開方向」と題して講演を行いました。
- ・ 11月27日、札幌市で開催の「土地改良セミナー」において「最近の農政をめぐる情勢と今後の展開方向」と題して、土地改良事業の重要性に重点を置いた講演を行いました。
- ・ 11月29日、京都市で開催の「京都水土里ネット女性の会設立総会」において「農業・農村における女性の活躍について」と題して講演を行いました。その後、「京都府土地改良区役職員研修会」において「この5年間を振り返って」と題して、国会議員として審議した法律や関与した諸制度等について説明するとともに、今後の展望などについて講演を行いました。

- ・ 11 月 30 日、前橋市で開催の「土連役職員研修会」において「最近の農政をめぐる情勢と今後の展開方向」と題して講演を行いました。

=====